

《担当者名》非常勤講師 / 阿部 和夫

【概要】

ドイツ語への理解とドイツの社会文化に関する知見を深めるためのドイツ語講座

【学修目標】

初級ドイツ語に続き、ドイツ語による読み・書き・会話の基礎的な力を身につける。

ドイツの社会や文化についての知識を増やしなが、環境問題、戦争と平和、欧州連合といった時事的なものまで多岐にわたるテーマを理解していくことで、ドイツ語だけではなく、ドイツ事情や社会問題についての理解を深める。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	発音の復習と聞きとり	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドイツ語独特の発音をマスターする。</li> <li>ドイツ人へのインタビューを聞き取る。</li> </ul>	阿部 和夫
2	様々な動詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに学んだ動詞と新たな不規則変化動詞を使いこなす。</li> <li>グリム童話の世界</li> </ul>	阿部 和夫
3	非人称のes	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然現象や心理現象を表現することができる。</li> <li>esを使った慣用表現を用いることができる。</li> </ul>	阿部 和夫
4	前置詞とその格変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>前置詞の格支配の仕組みを理解する。</li> <li>ドイツの街並みと旅行について</li> </ul>	阿部 和夫
5	前置詞(つづき) これまでのまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>注意すべき前置詞の用法</li> <li>項目ごとの理解度をチェックし、次の段階へ進む。</li> </ul>	阿部 和夫
6	枠構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドイツ語の基本構造は枠であることを理解する。</li> <li>様々な枠構造について</li> </ul>	阿部 和夫
7	話法の助動詞その1	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語にそっくりな一連の助動詞たち</li> <li>ユーロと欧州連合について</li> </ul>	阿部 和夫
8	話法の助動詞その2	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語との共通点と相違点</li> <li>助動詞を用いた言い回しが可能になる。</li> </ul>	阿部 和夫
9	分離動詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>二つに分かれてしまう動詞</li> <li>アルツハイマーについて</li> </ul>	阿部 和夫
10	分離動詞と非分離動詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>二つに分かれない動詞</li> <li>時刻表現が使用可能になる。</li> </ul>	阿部 和夫
11	命令形	<ul style="list-style-type: none"> <li>3種類の命令形を使うことができる。</li> </ul>	阿部 和夫
12	これまでのまとめ 総合的な問題練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>各項目の理解度をチェックすることにより、次の段階へ進むことができる。</li> </ul>	阿部 和夫
13	動詞の3基本形	<ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞ー過去基本形ー過去分詞の3基本形について</li> </ul>	阿部 和夫
14	現在完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常会話で専ら用いられる現在完了を使うことができる。</li> <li>ドイツ映画事情、テレビ事情について</li> </ul>	阿部 和夫
15	総括と復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドイツ語とはどんな言葉なのか、総括する。</li> </ul>	阿部 和夫

【評価方法】

定期試験(70~80%)、授業参加態度と小テストなどの平常点(20~30%)

【教科書】

「イン・ドイチュラント(in Deutschland)」秋田 静男 ほか 著 朝日出版社 2016年

【参考書】

独和辞典(種類は問わない。)

**【学修の準備】**

予習として：教科書のホームページにアクセスし、次回の授業範囲の映像・音声を視聴し、あらかじめ耳を慣らしておく。  
(20分)

復習として：教科書付属問題集の中から、前回の授業内容にかかわる問題を解く。(20分)

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2.「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を外国語の観点から身につける(プロフェッショナリズムとコミュニケーション能力)。

DP5. 歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力を身につけるために必要な知識を外国語の観点から修得する(社会的貢献)。